

平成29年度
地球環境『自然学』講座
第12回

テーマ

「水循環に根ざした東近江市のまちづくり」

講師

東近江市森と水政策課 課長補佐

山口 美知子 先生

平成29年10月14日

認定NPO法人・シニア自然大学校

東近江の未来資本を太らせよう



東近江三方よし基金



一般財団法人東近江三方よし基金事務局
滋賀県東近江市市民環境部森と水政策課
山口美知子

(プロフィール)

東近江市市民環境部森と水政策課 課長補佐

滋賀県生まれ。東京農工大学大学院修了。1998年に林業技師として滋賀県入庁。林業事務所、琵琶湖環境政策室などを経て、2012年3月滋賀県を退職し、東近江市職員となる。緑の分権改革課、まちづくり協働課を経て2015年から現課。その他、滋賀地方自治研究センター、一般社団法人kikito、NPO法人カーボンシンク、NPO法人まちづくりネット東近江、びわ湖の森の生き物研究会、マザーレイクフォーラム運営委員等の活動に参加。



「しまつして、きばる」

近江商人の商法は、八幡商人・日野商人・五個荘商人など、活躍した時代や場所により異なりますが、共通するのは遠い地域間の価格差を利用した点です。また、商売相手の利益を優先して考えるために薄利でした。そこで利益を上げるために、他人の嫌がる苦勞を進んで「きばり」、長期的にみて経済の合理性を求めたのが「しまつ」です。ケチと誤解されやすい「しまつ」の極意がここにあります。

「奢者必不久」

「奢れる者かならず久しからず」は、五個荘商人松居遊見が座右の銘とし、自分の肖像画に自ら大書し遺訓としました。豪商で知られた松居遊見でも、表向きは百姓の身分で、商いはあくまで農間の余業でした。その生活はきわめて質素で、手織木綿の衣服を着、常にわらじをはき、粗食で粗末な家に住み、陰徳を積むことを喜びとしました。

「好富施其徳」

「富を好しとし、其の徳を施せ」は、八幡商人西川利右衛門の家訓です。

商売が繁盛して富を得るのは良い事とし、その財産に見合った徳、すなわち社会貢献をすることが重要と説きました。商いが大きくなると共に商人も大きな徳を持った人間へ成長しなければならないとしています。

約400年前～(江戸)
「近江商人の三方よし」

第2次 環境基本計画

●基本方針 2

地域資源の見直し、保全・再生

～地域資源の見直し、保全・再生による地域の価値を高める地域づくり～

地域資源

自然資本

自然を形成する要素や生態系を構成する生物を含む広義の生物圏
森里川湖、生物など

人工資本

人が作り出したものや仕組み
建築物、道路、住宅、公園など

文化資本

伝承される歴史、祭り、
芸能、生活文化など

人的資本

人の能力、人口、
健康、教育など

社会関係資本

人々が持つ信頼関係や
人間関係、ネットワーク、
家族、友人、規範など

●基本方針 3

地域資源をつなぐ仕組みづくり

～地域資源をつなぐ仕組みづくりによる循環共生型の地域づくり～

地域資源とは、

私たちの地域は、「自然資本」「人工資本」「人的資本」「社会関係資本」の4つの要素と、これらの中で育まれた「文化資本」で構成されています。これらを総じて「地域資源」と呼びます。

市外へ自然資源・生態系サービスを提供

- 食料、水、木を使った製品
- 水源かん養、自然災害の防止など

• 地域資源への投資

市外へ

- 市民の市内消費
貯蓄の増加

●基本方針 1 地域資源の活用

～地域資源の活用による豊かな地域づくり～

- もの、サービスの販売による
市民の所得の向上

- 地域資源を活用した
もの、サービスを生産

市外から

市外から資金・人材などの受入

- 自然保全活動への参加
- 社会経済的な仕組みを通じた支援など



第10回ローカルサミットin東近江 開催！

【東近江市の開催趣旨】

東近江市は、自然資本をベースに、人と人・人と自然がつながる循環共生型のまちを目指して、多様な主体が連携し、様々なチャレンジが行われている。中でも、東近江三方よし基金の設立は、温かいお金の流れを生み出し、循環共生型のまちの具体的な姿の実現に貢献するものである。

そこで、東近江市の鈴鹿山脈から琵琶湖までつながる空間が生み出す価値と、その上に築かれた自然と共生する豊かな歴史文化の価値を共有する。また、歴史と流域の広がりをもとにした未来の具体的な地域像を、子供も含めた地域住民と共有する場として開催します。

日程：2017年12月1日（金）～3日（日）

概要：

1日目...時間軸と空間軸を体感するフィールドワークを市内各地を舞台に実施
歴史文化基本構想をベースに6～7コース設定

2日目...八日市文芸会館にて内山節氏の基調講演等
八日市を中心に10テーマで分科会開催

（仮テーマ）農商連携、技術と民藝、地域共生、地域経営、森おこし、
ブランディング、地域教育、エネルギー、志のあるお金、地域の全体像

3日目...東近江三方よし基金の活用策について各分科会から提案発表

主催：第10回ローカルサミットin東近江実行委員会